

# 2019年度 クラブ経営情報開示資料

2020年7月30日

公益社団法人日本プロサッカーリーグ  
クラブ経営本部  
クラブライセンス事務局

# 1 - 1. はじめに



## (1) クラブ経営情報開示の概要

2020年5月に2019シーズンのJ 1、J 2、J 3全55クラブのうち、  
下記10クラブを除いた45クラブの経営情報（2019年度決算情報）の開示を行った  
新型コロナウイルスの影響にて決算の確定が延期となったクラブ(6クラブ)  
水戸、栃木、東京V、横浜F C、山口、相模原  
3月決算のクラブ(4クラブ)  
湘南、磐田、柏、Y S横浜  
7月は上記10クラブを含めた全55クラブの経営情報を開示する

## (2) クラブ経営情報開示を実施する背景

- ① JリーグおよびJクラブをサポート頂いている方々への迅速な情報提供
  - ・ JリーグおよびJクラブの公共性に鑑みると、適時適切な情報を提供することはJリーグの信頼性を向上していくうえで不可欠である
  - ・ クラブ経営への関心が高まることで、クラブに関わる方々がクラブとともに成長に必要な策を検討、実行していく機会も増加する
- ② クラブライセンス制度の透明性・公平性の担保
  - ・ クラブライセンス制度の浸透により、財務基準に対する世間の関心が高まっている
  - ・ 迅速な開示を行うことで、クラブライセンス審査の透明性と公平性を担保する

# 1 - 2. 主なトピックス

追加10クラブ：湘南、磐田、水戸、栃木、柏、東京V、横浜FC、山口、YS横浜、相模原

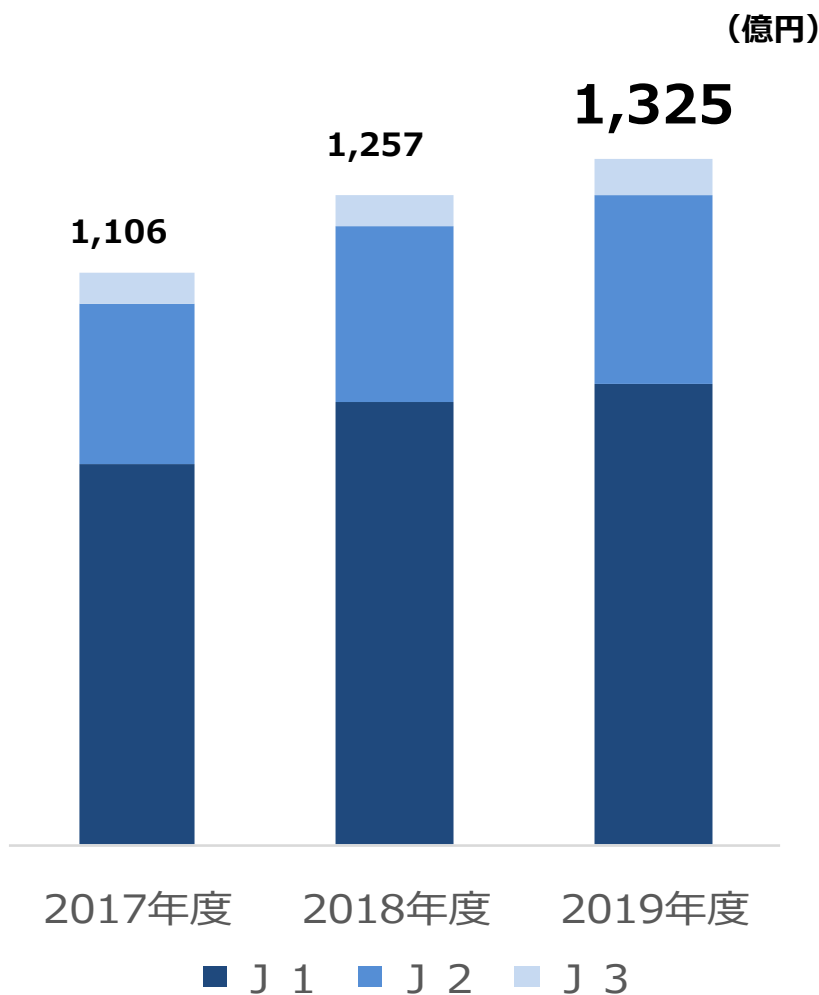
- (1) **営業収益**は、55クラブ合計で**1,325億円**(前年比**+68億円**)  
うち、スポンサー収入640億円(前年比+45億円)  
入場料収入216億円(前年比+23億円)
- (2) **営業費用**は、55クラブ合計で**1,346億円**(前年比**+114億円**)  
うち、チーム人件費644億円(前年比+61億円)

再掲

- (3) クラブ別トピックス
  - ・**ヴィッセル神戸**は**Jリーグ史上最高営業収益 114.4億円**を計上  
※これまでの最高額は、同じくヴィッセル神戸の2018年度96.6億円
  - ・**サガン鳥栖**は**赤字(当期純損失) 20.1億円**を計上
  - ・**FC琉球**は**4期連続赤字** (※ただし、財務基準には抵触しない)

※2020年5月発表時と同様の情報については、「再掲」と表示しています。

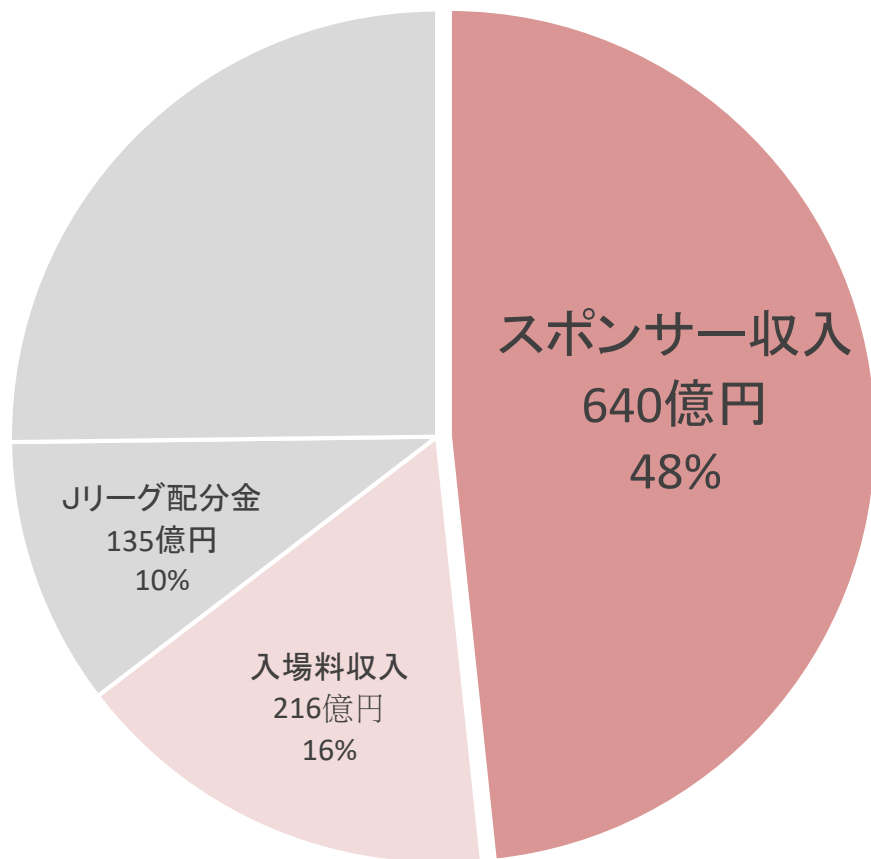
# 1 - 3. 営業収益合計



9年連続の増収により、  
営業収益合計は  
**1,300億円**を突破

成長率は**105.4%**

# 1 - 4. 営業収益内訳



営業収益1,325億円のうち、**48%**が**スポンサー収入**

次いで、**入場料収入**

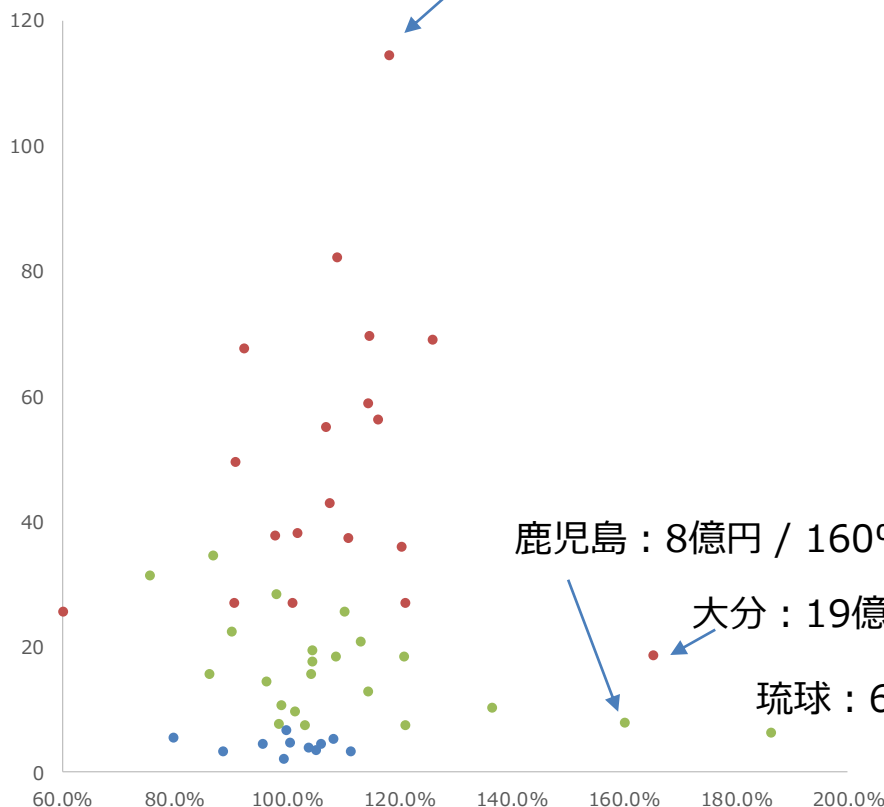
# 1 - 5. 営業収益・成長率分布



<クラブ名 : 営業収益 / 成長率>

神戸 : 114億円 / 118%

<営業収益(億円)>



## 35/54クラブが 成長率100%超

## うち、3クラブが160%超

琉球	186%
大分	165%
鹿兒島	160%

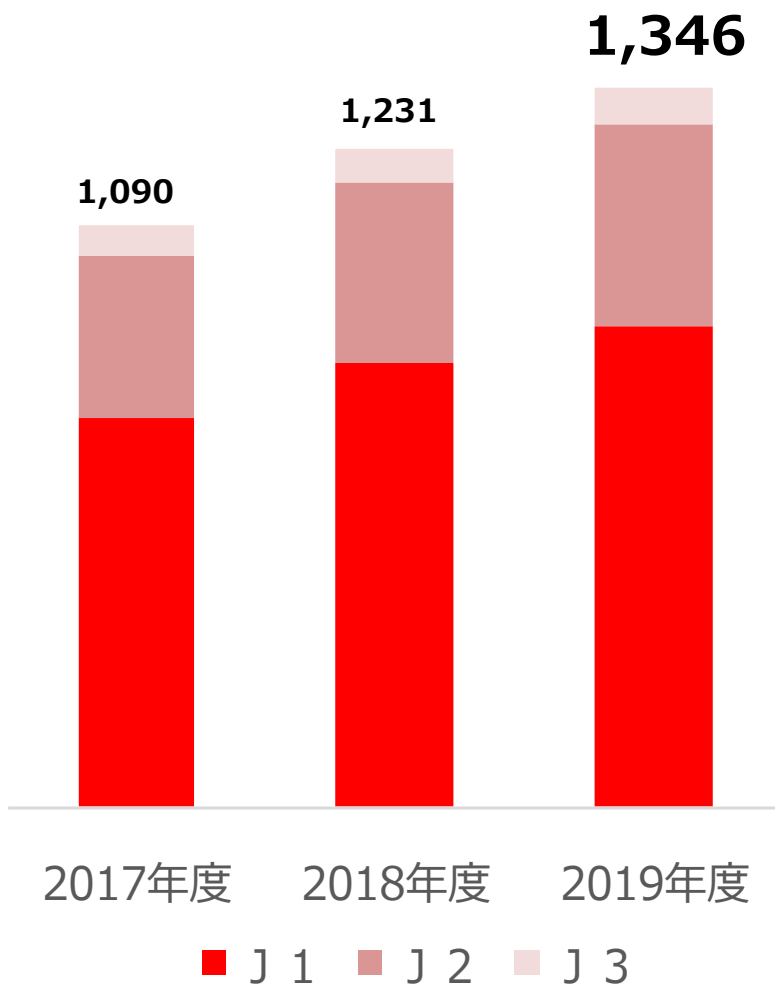
- : J 1 (平均50億円/110%)
- : J 2 (平均17億円/110%)
- : J 3 (平均 5億円/ 96%)

<成長率>

# 1 - 6. 営業費用合計



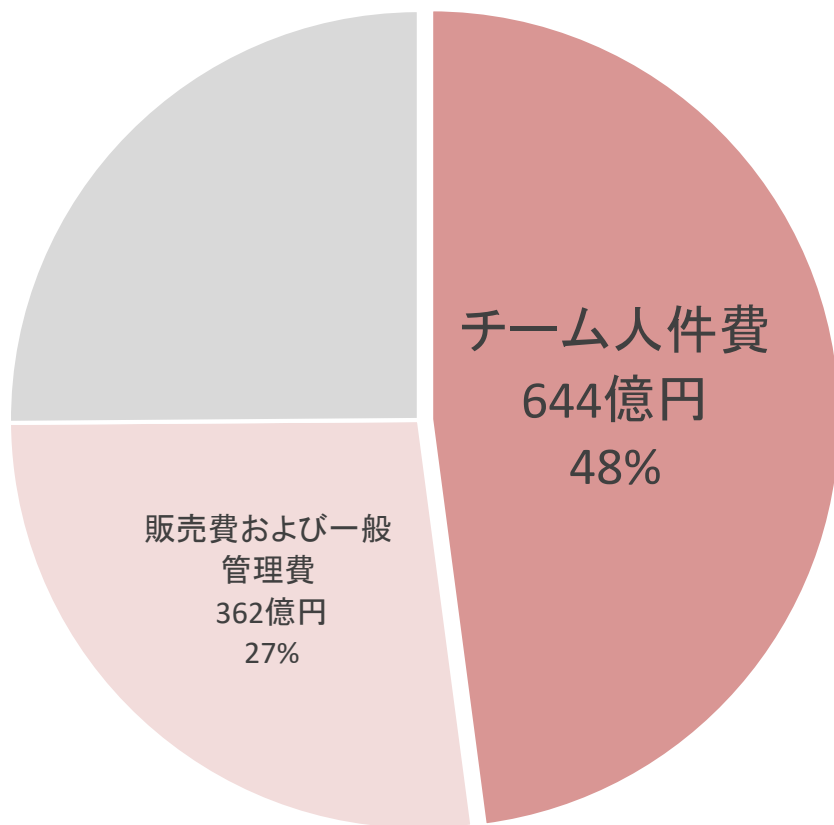
(億円)



営業費用合計も  
**1,300億円**を超える

**拡大均衡**にて推移

# 1 - 7. 営業費用内訳



営業費用1,346億円のうち、**48%**が**チーム人件費**

次いで、**販管費**



# 1 - 8. 赤字・債務超過クラブ



- F C 琉球が4期連続赤字
- 赤字クラブは23クラブ、3期以上連続赤字クラブは1クラブとなった

## 【2019年度のJ1・J2・J3クラブの財務状況】

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	該当クラブ (2019年度)
クラブ数	51	51	52	53	54	54	55	
単年度赤字	17	13	7	13	14	18	23	札幌※、仙台※、磐田、名古屋、C大阪、鳥栖※、水戸、柏、甲府、岐阜、京都、愛媛、福岡、琉球※、岩手、秋田、福島※、相模原※、長野※、富山※、藤枝、鳥取、讃岐 (下線は今回追加クラブ)
3期以上連続赤字	5	1	0	0	0	1	1	琉球※ (財務基準には抵触しない)
債務超過	12	2	0	0	0	0	0	※札幌、仙台、鳥栖、福島、相模原、長野、富山は2期連続赤字 ※琉球は4期連続赤字

【注】2013年度のクラブ数は、新入会クラブの所属リーグにおける財務数値を基準としている

# Appendix

# 2-1. 決算数値の概要： J1・J2・J3クラブ合計



- ・スポンサー収入640億円(前年比+45億円)、入場料収入216億円(前年比+23億円)
- ・チーム人件費644億円(前年比+61億円)

(百万円)

	J1合計			J2合計			J3合計			J1+J2+J3合計		
	2018年度 (18クラブ)	2019年度 (18クラブ)	前年比	2018年度 (22クラブ)	2019年度 (22クラブ)	前年比	2018年度 (14クラブ)	2019年度 (15クラブ)	前年比	2018年度 (54クラブ)	2019年度 (55クラブ)	前年比
1 営業収益	85,597	89,115	+3,518	33,894	36,405	+2,511	6,218	6,960	+742	125,709	132,480	+6,771
2 スポンサー収入	38,335	39,832	+1,497	17,817	20,411	+2,594	3,380	3,776	+396	59,532	64,019	+4,487
3 入場料収入	14,474	16,672	+2,198	4,368	4,381	+13	409	528	+119	19,251	21,581	+2,330
4 Jリーグ配分金	8,759	9,439	+680	3,692	3,459	▲233	487	595	+108	12,938	13,493	+555
5 アカデミー関連収入	2,872	2,936	+64	1,693	1,908	+215	548	568	+20	5,113	5,412	+299
6 物販収入	7,590	7,851	+261	2,016	2,131	+115	299	377	+78	9,905	10,359	+454
7 その他収入	13,567	12,386	▲1,181	4,308	4,115	▲193	1,095	1,116	+21	18,970	17,617	▲1,353
8 営業費用	83,006	89,999	+6,993	33,663	37,427	+3,764	6,445	7,132	+687	123,114	134,558	+11,444
9 チーム人件費	40,944	45,008	+4,064	14,975	16,822	+1,847	2,313	2,528	+215	58,232	64,358	+6,126
10 試合関連経費	5,915	6,358	+443	2,566	2,802	+236	430	495	+65	8,911	9,655	+744
11 トップチーム運営経費	6,655	6,851	+196	4,080	4,466	+386	911	1,005	+94	11,646	12,322	+676
12 アカデミー運営経費	2,440	2,268	▲172	1,284	1,523	+239	317	344	+27	4,041	4,135	+94
13 女子チーム運営経費	202	214	+12	214	161	▲53	41	41	+0	457	416	▲41
14 物販関連費	5,359	5,558	+199	1,393	1,599	+206	192	272	+80	6,944	7,429	+485
15 販売費および一般管理費	21,491	23,742	+2,251	9,152	10,052	+900	2,242	2,447	+205	32,885	36,241	+3,356
16 営業利益 (▲損失)	2,591	▲ 884	▲3,475	231	▲ 1,023	▲1,254	▲ 227	▲ 172	+55	2,595	▲ 2,079	▲4,674
17 営業外収益	374	351	▲23	265	378	+113	42	80	+38	681	809	+128
18 営業外費用	998	801	▲197	82	168	+86	39	24	▲15	1,119	993	▲126
19 経常利益 (▲損失)	1,967	▲ 1,334	▲3,301	414	▲ 813	▲1,227	▲ 224	▲ 116	+108	2,157	▲ 2,263	▲4,420
20 特別利益	330	200	▲130	0	36	+36	25	0	▲25	355	236	▲119
21 特別損失	48	370	+322	99	186	+87	3	78	+75	150	634	+484
22 税引前当期利益 (▲損失)	2,249	▲ 1,504	▲3,753	315	▲ 963	▲1,278	▲ 202	▲ 195	+7	2,362	▲ 2,662	▲5,024
23 法人税および住民税等	1,185	565	▲620	112	32	▲80	10	26	+16	1,307	623	▲684
24 当期純利益 (▲損失)	1,064	▲ 2,070	▲3,134	203	▲ 994	▲1,197	▲ 212	▲ 220	▲8	1,055	▲ 3,284	▲4,339

※賞金は、Jリーグ配分金ではなくその他収入に含まれている。

## 2-2. 決算数値の概要： J1・J2・J3クラブ平均



- ・スポンサー収入12億円(前年比+6千万円)、入場料収入4億円(前年比+4千万円)
- ・チーム人件費12億円(前年比+9千万円)

	J1平均				J2平均				J3平均				J1+J2+J3平均					
	2018年度 (18クラブ)	構成比	2019年度 (18クラブ)	前年比	構成比	2018年度 (22クラブ)	構成比	2019年度 (22クラブ)	前年比	構成比	2018年度 (14クラブ)	構成比	2019年度 (15クラブ)	前年比	構成比	2018年度 (54クラブ)	2019年度 (55クラブ)	前年比
1 営業収益	4,755	100.0%	4,951	+195	100.0%	1,541	100.0%	1,655	+114	100.0%	444	100.0%	464	+20	100.0%	2,328	2,409	+81
2 スポンサー収入	2,130	44.8%	2,213	+83	44.7%	810	52.6%	928	+118	56.1%	241	54.4%	252	+10	54.3%	1,102	1,164	+62
3 入場料収入	804	16.9%	926	+122	18.7%	199	12.9%	199	+1	12.0%	29	6.6%	35	+6	7.6%	357	392	+36
4 Jリーグ配分金	487	10.2%	524	+38	10.6%	168	10.9%	157	▲11	9.5%	35	7.8%	40	+5	8.5%	240	245	+6
5 アカデミー関連収入	160	3.4%	163	+4	3.3%	77	5.0%	87	+10	5.2%	39	8.8%	38	▲1	8.2%	95	98	+4
6 物販収入	422	8.9%	436	+15	8.8%	92	5.9%	97	+5	5.9%	21	4.8%	25	+4	5.4%	183	188	+5
7 その他収入	754	15.8%	688	▲66	13.9%	196	12.7%	187	▲9	11.3%	78	17.6%	74	▲4	16.0%	351	320	▲31
8 営業費用	4,611	100.0%	5,000	+389	100.0%	1,530	100.0%	1,701	+171	100.0%	460	100.0%	475	+15	100.0%	2,280	2,447	+167
9 チーム人件費	2,275	49.3%	2,500	+226	50.0%	681	44.5%	765	+84	44.9%	165	35.9%	169	+3	35.4%	1,078	1,170	+92
10 試合関連経費	329	7.1%	353	+25	7.1%	117	7.6%	127	+11	7.5%	31	6.7%	33	+2	6.9%	165	176	+11
11 トップチーム運営経費	370	8.0%	381	+11	7.6%	185	12.1%	203	+18	11.9%	65	14.1%	67	+2	14.1%	216	224	+8
12 アカデミー運営経費	136	2.9%	126	▲10	2.5%	58	3.8%	69	+11	4.1%	23	4.9%	23	+0	4.8%	75	75	+0
13 女子チーム運営経費	11	0.2%	12	+1	0.2%	10	0.6%	7	▲2	0.4%	3	0.6%	3	▲0	0.6%	8	8	▲1
14 物販関連費	298	6.5%	309	+11	6.2%	63	4.1%	73	+9	4.3%	14	3.0%	18	+4	3.8%	129	135	+6
15 販売費および一般管理費	1,194	25.9%	1,319	+125	26.4%	416	27.2%	457	+41	26.9%	160	34.8%	163	+3	34.3%	609	659	+50
16 営業利益(▲損失)	144	-	▲49	▲193	-	11	-	▲47	▲57	-	▲16	-	▲11	+5	-	48	▲38	▲86
17 営業外収益	21	-	20	▲1	-	12	-	17	+5	-	3	-	5	+2	-	13	15	+2
18 営業外費用	55	-	45	▲11	-	4	-	8	+4	-	3	-	2	▲1	-	21	18	▲3
19 経常利益(▲損失)	109	-	▲74	▲183	-	19	-	▲37	▲56	-	▲16	-	▲8	+8	-	40	▲41	▲81
20 特別利益	18	-	11	▲7	-	0	-	2	+2	-	2	-	0	▲2	-	7	4	▲2
21 特別損失	3	-	21	+18	-	5	-	8	+4	-	0	-	5	+5	-	3	12	+9
22 税引前当期利益(▲損失)	125	-	▲84	▲209	-	14	-	▲44	▲58	-	▲14	-	▲13	+1	-	44	▲48	▲92
23 法人税および住民税等	66	-	31	▲34	-	5	-	1	▲4	-	1	-	2	+1	-	24	11	▲13
24 当期純利益(▲損失)	59	-	▲115	▲174	-	9	-	▲45	▲54	-	▲15	-	▲15	+1	-	20	▲60	▲79

※賞金は、Jリーグ配分金ではなくその他収入に含まれている。

## 2-3. 営業収益（売上高）の推移



### 2019-2018年度比較（54クラブ） 増収35クラブ、減収18クラブ J1クラブがリーグ全体の成長を強くけん引している

【2019年J1在籍クラブ】

(百万円)

	2017年度	2018年度	2019年度	前年比
1 神戸	5,237	9,666	11,440	+1,774
2 浦和	7,971	7,549	8,218	+669
3 川崎F	5,123	6,074	6,969	+895
4 名古屋	4,594	5,491	6,912	+1,421
5 鹿島	5,228	7,330	6,768	▲562
6 横浜FM	4,765	5,138	5,884	+746
7 FC東京	4,588	4,844	5,635	+791
8 G大阪	4,966	5,159	5,513	+354
9 清水	4,010	3,983	4,291	+308
10 磐田	3,828	3,745	3,813	+68
11 C大阪	3,976	3,871	3,786	▲85
12 広島	3,424	3,367	3,737	+370
13 札幌	2,676	2,988	3,599	+611
14 仙台	2,709	2,684	2,711	+27
15 松本	1,991	2,239	2,711	+472
16 湘南	1,566	2,978	2,701	▲277
17 鳥栖	3,350	4,257	2,561	▲1,696
18 大分	1,023	1,128	1,866	+738
合計	71,025	82,491	89,115	+6,624
平均	3,946	4,583	4,951	

54クラブ

	2017年度	2018年度	2019年度	前年比
総合計	110,562	125,708	132,178	+6,470
平均	2,047	2,328	2,448	

【2019年J2在籍クラブ】

(百万円)

	2017年度	2018年度	2019年度	前年比
1 大宮	3,685	3,972	3,454	▲518
2 柏	3,454	4,150	3,140	▲1,010
3 千葉	2,593	2,893	2,838	▲55
4 長崎	1,120	2,323	2,564	+241
5 新潟	2,762	2,493	2,247	▲246
6 京都	1,857	1,848	2,090	+242
7 東京V	1,622	1,852	1,938	+86
8 山形	1,576	1,698	1,845	+147
9 横浜FC	1,244	1,522	1,841	+319
10 徳島	1,639	1,688	1,763	+75
11 福岡	1,979	1,831	1,577	▲254
12 岡山	1,433	1,502	1,567	+65
13 甲府	1,727	1,511	1,455	▲56
14 山口	1,019	1,126	1,289	+163
15 岐阜	951	1,090	1,079	▲11
16 町田	709	755	1,032	+277
17 栃木	658	962	975	+13
18 鹿児島	496	493	790	+297
19 愛媛	769	789	777	▲12
20 金沢	656	736	760	+24
21 水戸	578	621	752	+131
22 琉球	241	339	632	+293
合計	32,768	36,194	36,405	+211
平均	1,489	1,645	1,655	

【2019年J3在籍クラブ】

(百万円)

	2017年度	2018年度	2019年度	前年比
1 熊本	840	933	850	▲83
2 北九州	864	794	804	+10
3 長野	702	675	675	0
4 讃岐	696	704	561	▲143
5 富山	539	482	522	+40
6 群馬	624	462	465	+3
7 秋田	360	435	461	+26
8 鳥取	458	475	455	▲20
9 沼津	361	386	401	+15
10 相模原	282	331	348	+17
11 福島	359	367	325	▲42
12 藤枝	210	291	324	+33
13 八戸	-	-	302	-
14 岩手	281	483	263	▲220
15 YS横浜	193	205	204	▲1
合計	6,769	7,023	6,658	▲365
平均	484	502	476	

【凡例】   : J1在籍   : J2在籍   : J3在籍

※ 2018年度の湘南の数値は、決算期変更に伴い、2018年2月～2019年3月の計14ヵ月間の数値となっている。

※ J3合計および総合計に八戸は含まれていない。

※ 百万円未満の増加・減少は、増減クラブ数にカウントしていない。

## 2-4. スポンサー収入の推移

### 2019-2018年度比較（54クラブ） 増収38クラブ、減収15クラブ

【2019年J1在籍クラブ】

(百万円)

	2017年度	2018年度	2019年度	前年比
1 神戸	3,352	6,208	7,405	+1,197
2 名古屋	2,856	3,345	4,077	+732
3 浦和	3,193	3,226	3,841	+615
4 FC東京	1,717	1,988	2,419	+431
5 鹿島	1,917	2,156	2,303	+147
6 横浜FM	2,111	2,033	2,263	+230
7 川崎F	1,854	1,478	2,143	+665
8 清水	1,797	1,757	1,937	+180
9 磐田	1,812	1,869	1,877	+8
10 G大阪	1,800	1,845	1,863	+18
11 C大阪	1,600	1,786	1,707	▲79
12 広島	1,546	1,530	1,582	+52
13 札幌	1,070	1,306	1,440	+134
14 仙台	1,183	1,137	1,165	+28
15 松本	953	991	1,145	+154
16 湘南	795	1,224	1,129	▲95
17 鳥栖	1,574	2,296	810	▲1,486
18 大分	443	486	726	+240
合計	31,573	36,661	39,832	+3,171
平均	1,754	2,037	2,213	

54クラブ

	2017年度	2018年度	2019年度	前年比
総合計	51,554	59,532	63,867	+4,335
平均	955	1,102	1,183	

【2019年J2在籍クラブ】

(百万円)

	2017年度	2018年度	2019年度	前年比
1 大宮	2,296	2,611	2,464	▲147
2 柏	1,954	1,968	2,206	+238
3 千葉	1,704	1,994	1,954	▲40
4 長崎	539	1,183	1,557	+374
5 京都	1,129	1,243	1,356	+113
6 徳島	1,103	1,098	1,147	+49
7 横浜FC	698	924	1,123	+199
8 新潟	1,085	1,127	949	▲178
9 東京V	779	847	911	+64
10 甲府	774	760	800	+40
11 岡山	703	763	798	+35
12 福岡	621	990	693	▲297
13 町田	343	370	666	+296
14 山口	439	506	634	+128
15 岐阜	474	557	589	+32
16 山形	429	469	573	+104
17 栃木	408	525	506	▲19
18 鹿児島	261	330	401	+71
19 愛媛	302	324	324	0
20 金沢	294	328	320	▲8
21 水戸	195	205	259	+54
22 琉球	65	156	181	+25
合計	16,595	19,278	20,411	+1,133
平均	754	876	928	

【2019年J3在籍クラブ】

(百万円)

	2017年度	2018年度	2019年度	前年比
1 長野	407	417	419	+2
2 北九州	384	394	384	▲10
3 熊本	351	431	366	▲65
4 富山	372	321	341	+20
5 群馬	267	228	285	+57
6 秋田	198	255	266	+11
7 藤枝	144	228	254	+26
8 讃岐	292	268	241	▲27
9 相模原	181	212	230	+18
10 鳥取	233	245	221	▲24
11 沼津	166	186	220	+34
12 福島	237	246	214	▲32
13 八戸	-	-	152	-
14 岩手	116	118	144	+26
15 YS横浜	38	44	39	▲5
合計	3,386	3,593	3,624	+31
平均	242	257	259	

【凡例】  : J1在籍  : J2在籍  : J3在籍

- ※ 2018年度の湘南の数値は、決算期変更に伴い、2018年2月～2019年3月の計14ヵ月間の数値となっている。
- ※ J3合計および総合計に八戸は含まれていない。
- ※ 百万円未満の増加・減少は、増減クラブ数にカウントしていない。

# 2-5. 入場料収入の推移



## 2019-2018年度比較（54クラブ） 増収34クラブ、減収19クラブ

【2019年J1在籍クラブ】 (百万円)

	2017年度	2018年度	2019年度	前年比
1 浦和	2,337	1,923	2,300	+377
2 横浜FM	1,018	1,127	1,286	+159
3 神戸	514	840	1,260	+420
4 G大阪	1,266	1,152	1,247	+95
5 名古屋	824	936	1,221	+285
6 FC東京	1,026	947	1,104	+157
7 川崎F	1,038	975	1,042	+67
8 鹿島	894	978	996	+18
9 札幌	622	636	779	+143
10 鳥栖	631	678	760	+82
11 清水	625	582	702	+120
12 松本	494	503	695	+192
13 C大阪	839	618	677	+59
14 仙台	619	608	615	+7
15 広島	496	500	547	+47
16 磐田	615	638	531	▲107
17 大分	250	254	472	+218
18 湘南	240	480	438	▲42
合計	14,348	14,375	16,672	+2,297
平均	797	799	926	

54クラブ

総合計	19,319	19,251	21,571	+2,320
平均	358	357	399	

【2019年J2在籍クラブ】 (百万円)

	2017年度	2018年度	2019年度	前年比
1 新潟	629	507	500	▲7
2 柏	554	449	414	▲35
3 大宮	397	339	332	▲7
4 千葉	337	332	326	▲6
5 甲府	353	297	286	▲11
6 長崎	115	407	257	▲150
7 山形	172	178	241	+63
8 山口	204	212	216	+4
9 京都	205	173	198	+25
10 横浜FC	171	167	197	+30
11 岡山	190	176	186	+10
12 徳島	136	135	172	+37
13 福岡	190	174	137	▲37
14 東京V	186	178	177	▲1
15 岐阜	111	131	116	▲15
16 町田	94	108	115	+7
17 水戸	83	84	114	+30
18 栃木	59	115	113	▲2
19 鹿児島	21	27	104	+77
20 金沢	60	69	72	+3
21 愛媛	74	56	61	+5
22 琉球	5	10	47	+37
合計	4,346	4,324	4,381	+57
平均	198	197	199	

【2019年J3在籍クラブ】 (百万円)

	2017年度	2018年度	2019年度	前年比
1 北九州	124	107	124	+17
2 熊本	111	106	83	▲23
3 長野	59	46	45	▲1
4 讃岐	87	74	45	▲29
5 群馬	67	43	44	+1
6 相模原	26	35	38	+3
7 鳥取	33	34	32	▲2
8 富山	34	28	30	+2
9 秋田	16	20	20	0
10 福島	12	12	14	+2
11 YS横浜	14	14	12	▲2
12 沼津	22	16	12	▲4
13 藤枝	7	8	11	+3
14 八戸	-	-	10	-
15 岩手	13	9	8	▲1
合計	625	552	518	▲34
平均	45	39	37	

【凡例】  : J1在籍  : J2在籍  : J3在籍

※ 2018年度の湘南の数値は、決算期変更に伴い、2018年2月～2019年3月の計14ヵ月間の数値となっている。

※ J3合計および総合計に八戸は含まれていない。

※ 百万円未満の増加・減少は、増減クラブ数にカウントしていない。

# 2-6. チーム人件費の推移



## 2019-2018年度比較（54クラブ） 増加33クラブ、減少21クラブ

【2019年J1在籍クラブ】 (百万円)

	2017年度	2018年度	2019年度	前年比
1 神戸	3,104	4,477	6,923	+2,446
2 名古屋	1,843	2,823	3,973	+1,150
3 浦和	2,644	3,108	3,228	+120
4 川崎F	2,339	2,614	2,958	+344
5 鹿島	2,382	3,157	2,936	▲221
6 FC東京	2,010	2,133	2,736	+603
7 横浜FM	2,118	2,301	2,684	+383
8 鳥栖	1,899	2,670	2,528	▲142
9 G大阪	2,212	2,193	2,434	+241
10 C大阪	2,334	2,334	2,406	+72
11 磐田	1,553	1,721	1,995	+274
12 広島	1,602	1,864	1,931	+67
13 清水	1,680	1,811	1,729	▲82
14 札幌	1,206	1,502	1,698	+196
15 松本	956	1,145	1,430	+285
16 仙台	1,165	1,232	1,296	+64
17 湘南	774	1,384	1,263	▲121
18 大分	367	482	860	+378
合計	32,188	38,951	45,008	+6,057
平均	1,788	2,164	2,500	

54クラブ

総合計	2017年度	2018年度	2019年度	前年比
合計	49,686	58,232	64,277	+6,045
平均	920	1,078	1,190	

【2019年J2在籍クラブ】 (百万円)

	2017年度	2018年度	2019年度	前年比
1 柏	2,308	2,806	2,940	+134
2 大宮	1,792	1,915	1,547	▲368
3 千葉	1,177	1,272	1,153	▲119
4 長崎	494	814	1,029	+215
5 横浜FC	533	734	916	+182
6 京都	852	692	895	+203
7 徳島	814	952	892	▲60
8 福岡	1,000	909	784	▲125
9 新潟	1,227	1,108	722	▲386
10 東京V	572	733	713	▲20
11 甲府	883	747	707	▲40
12 岡山	638	638	634	▲4
13 山形	438	524	549	+25
14 山口	399	468	527	+59
15 岐阜	316	365	461	+96
16 愛媛	316	353	406	+53
17 町田	228	278	402	+124
18 栃木	229	353	365	+12
19 水戸	261	275	321	+46
20 金沢	309	331	311	▲20
21 鹿児島	138	179	296	+117
22 琉球	81	99	252	+153
合計	15,005	16,545	16,822	+277
平均	682	752	765	

【2019年J3在籍クラブ】 (百万円)

	2017年度	2018年度	2019年度	前年比
1 熊本	354	400	310	▲90
2 長野	281	293	294	+1
3 讃岐	345	301	263	▲38
4 北九州	308	287	250	▲37
5 富山	200	195	200	+5
6 群馬	292	223	184	▲39
7 藤枝	59	119	164	+45
8 秋田	114	148	161	+13
9 福島	119	125	124	▲1
10 相模原	92	109	121	+12
11 沼津	100	118	116	▲2
12 岩手	87	268	114	▲154
13 鳥取	112	106	114	+8
14 八戸	-	-	81	-
15 Y.S横浜	30	44	32	▲12
合計	2,493	2,736	2,447	▲289
平均	178	195	175	

【凡例】  : J1在籍  : J2在籍  : J3在籍

※ 2018年度の湘南の数値は、決算期変更に伴い、2018年2月～2019年3月の計14ヵ月間の数値となっている。

※ J3合計および総合計に八戸は含まれていない。

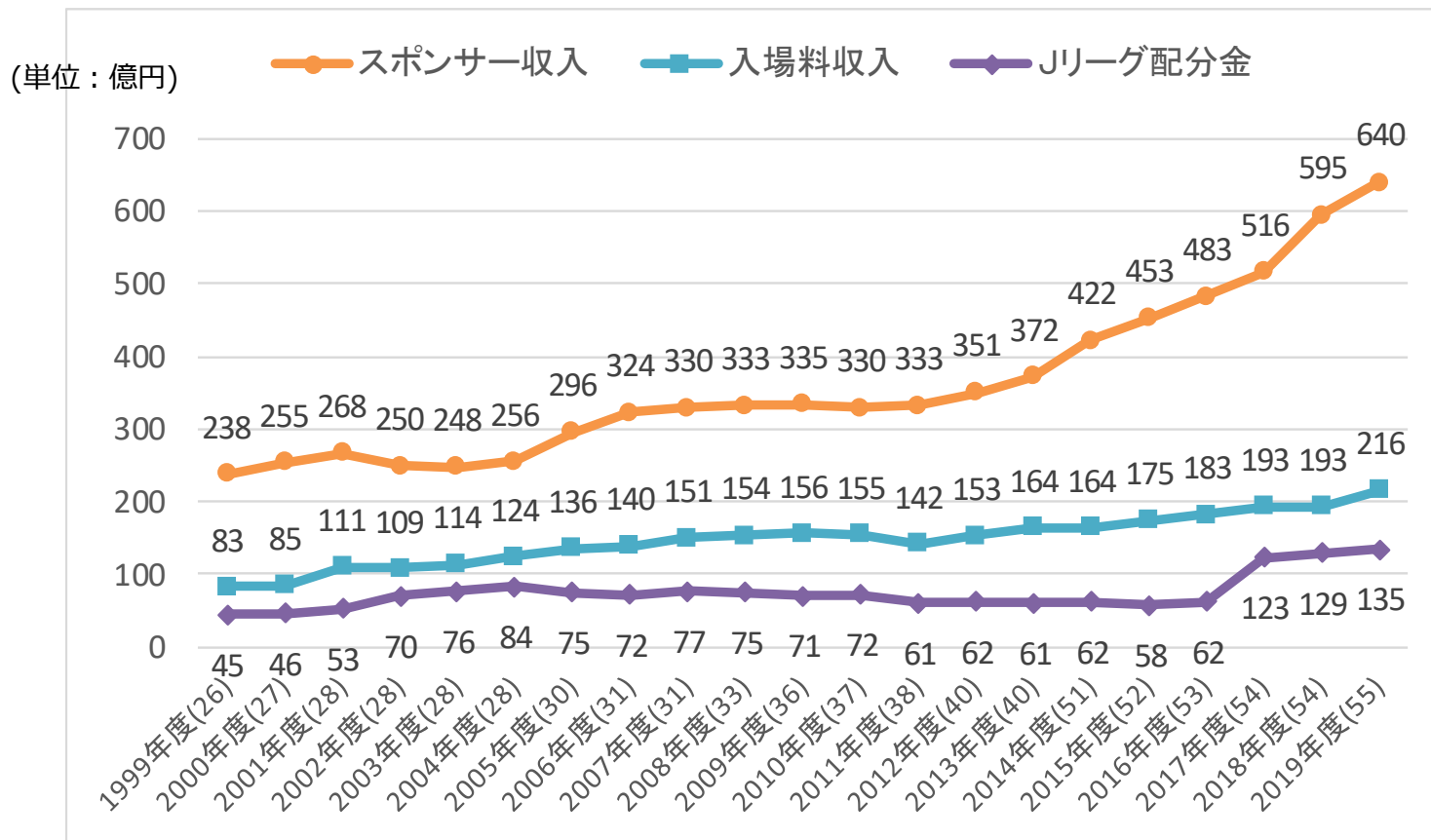
※ 百万円未満の増加・減少は、増減クラブ数にカウントしていない。



## 2-7. 営業収益主要項目の推移



- ・ スポンサー収入640億円(前年比+45億円)、入場料収入216億円(前年比+23億円)



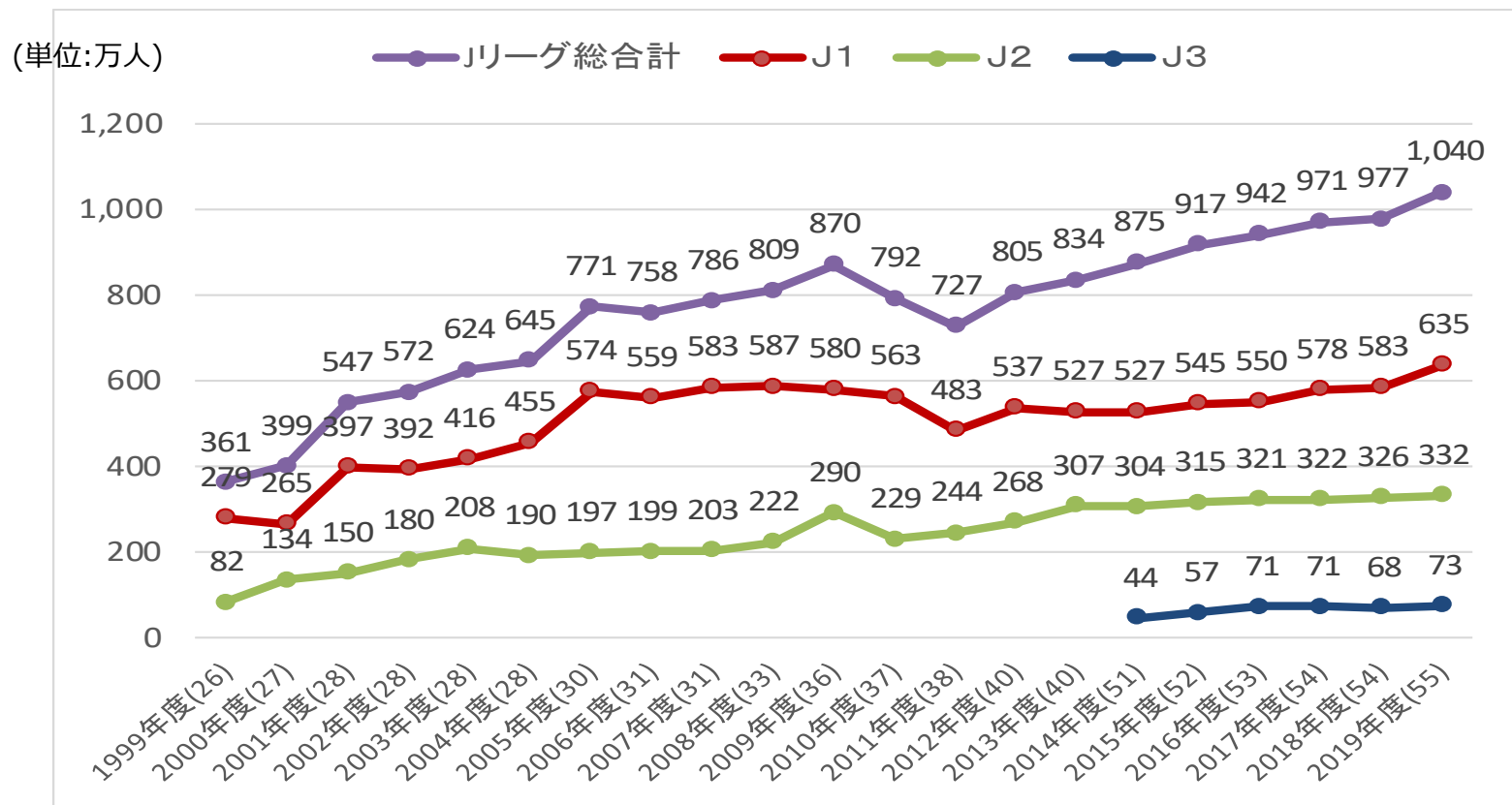
※2010年度以前のJリーグ配分金には、賞金が含まれている。

※2019年度Jリーグ決算発表における配分金の公表数値とは、Jリーグとクラブとの決算月のずれ等によって差異が生じている。

## 2-8. リーグ戦総入場者数の推移



- ・ リーグ戦（J1・J2・J3）の総入場者数は 10,397,947人（前年比 +630,336人）



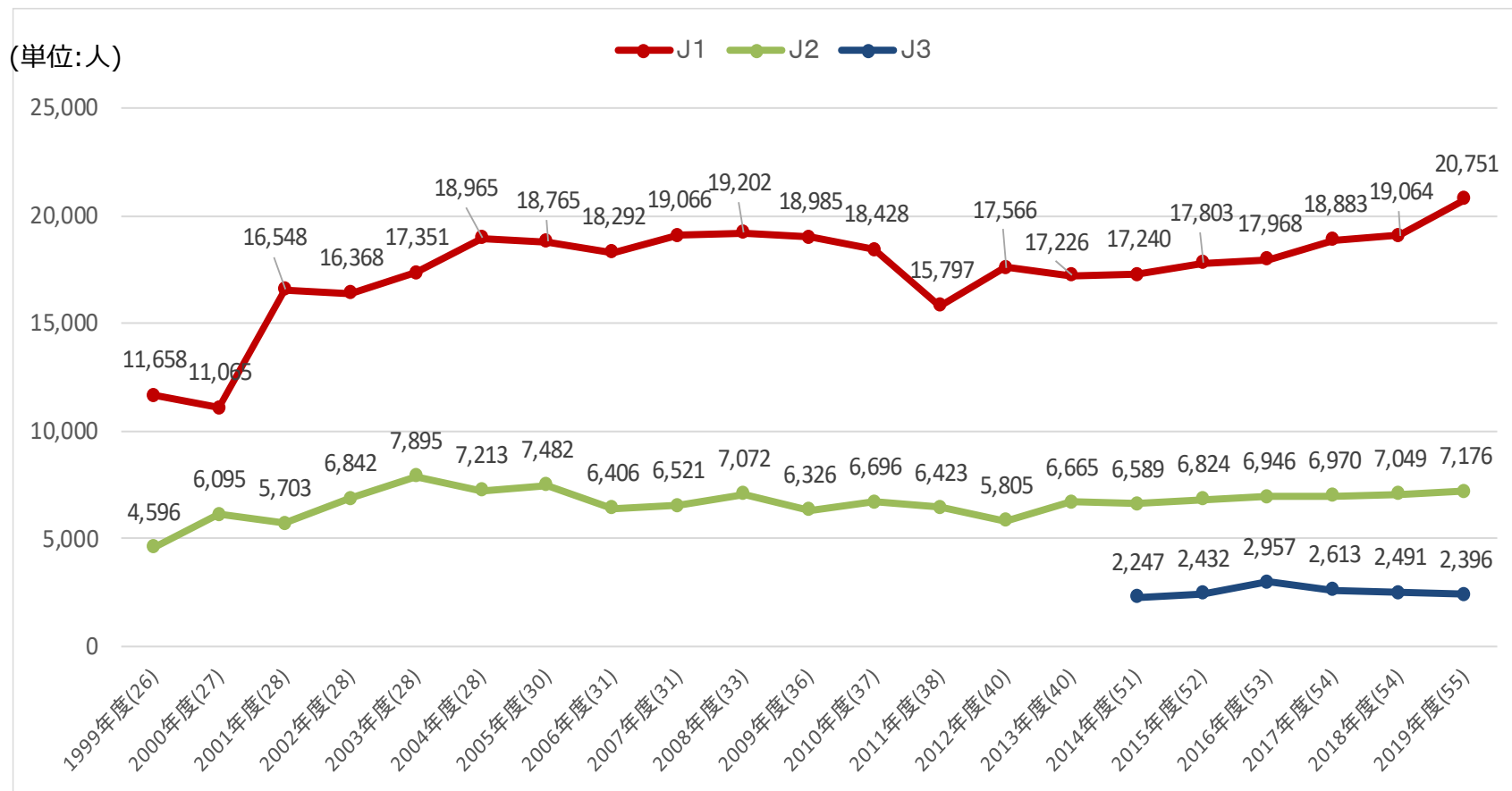
※2019年度総入場者数は、11,415,463人(前年比+819,721人)

含：リーグ戦、リーグカップ戦、スーパーカップ、J1参入プレーオフ、ACL、ワールドチャレンジ

## 2-9. 1試合当たりの平均入場者数(リーグ戦のみ)の推移



- **J 1** の平均入場者数は**20,751**人(前年比+1,687人)
- **J 2** は**7,176**人(前年比+127人)、**J 3** は**2,396**人(前年比▲95人)



## 3 - 1. 3期連続赤字禁止ルールの改定について



- (1) クラブライセンス制度施行前には経営的に不安定なクラブが数多く存在したことから、クラブの経営安定化を主目的として財務基準に債務超過禁止および3期連続赤字禁止というルールが制定された。
- (2) クラブライセンスの施行（2012年）後、赤字クラブ数および債務超過クラブ数は大きく減少し、クラブの経営安定化は進んだ。
- (3) 一方で、現在のクラブの財務状態から鑑みれば、今の財務基準は一部のクラブに過度に保守的な経営判断を行わせる可能性があるとの指摘があがった。
- (4) そのため、経営検討部会クラブライセンス財務基準分科会を発足し、財務基準改定の必要性について議論を行い、理事会の承認を経て、2018年から新ルールが施行された。

### Jリーグクラブライセンス（J1・J2ライセンス）改定の趣旨（J3クラブライセンスは変更なし）

3期以上連続で赤字が発生したとしても、**連続赤字の最終年度における期末純資産残高が当該年度の赤字額の絶対値を上回っている場合は不交付としない**こととする。

### 改定のメリット

- ① 内部留保を活用した大規模投資がしやすくなる
- ② 純資産に余裕がある状況下では、予測出来ない費用を意識した緊縮予算を組む必要が無くなる
- ③ 少額赤字を気にせず、収支均衡を目指しやすくなる

## 3 - 2. 3期連続赤字禁止ルールの改定について



### 【Jリーグクラブライセンス交付規則運用細則】

#### 改訂前（2017年申請）

規則番号： F.01 等級： A

年次財務諸表（監査済み）

（抜粋）

#### 3. 判定

判定は、原則としてライセンス申請者の個別財務諸表で行うものとする。ただし、第3項第2号に該当する場合には、この限りではない。

（中略）

(2)提出された財務諸表に基づいて審査を行い、以下のいずれかに該当する場合は基準F.01を満たさないものとする。

①3期連続で当期純損失を計上した場合

②ライセンスを申請した日の属する事業年度の前年度末日現在、純資産の金額がマイナスである（債務超過である）場合

③ Jリーグからの指摘に基づき、過年度の決算の修正が必要となった場合において、過年度の決算を修正した結果、前2号に示す事態となった場合

（後略）

#### 現行

規則番号： F.01 等級： A

年次財務諸表（監査済み）

（抜粋）

#### 3. 判定

判定は、原則としてライセンス申請者の個別財務諸表で行うものとする。ただし、第3項第2号に該当する場合には、この限りではない。

（中略）

(2)提出された財務諸表に基づいて審査を行い、以下のいずれかに該当する場合は基準F.01を満たさないものとする。

①3期**以上**連続で当期純損失を計上した場合 **（ただし、ライセンスを申請した日の属する事業年度の前年度末日現在の純資産残高がライセンスを申請した日の属する事業年度の前年度の当期純損失の額の絶対値を上回っている場合は本項目に該当しないものとみなす）**

②ライセンスを申請した日の属する事業年度の前年度末日現在、純資産の金額がマイナスである（債務超過である）場合

③ Jリーグからの指摘に基づき、過年度の決算の修正が必要となった場合において、過年度の決算を修正した結果、前2号に示す事態となった場合

（後略）

※上記は、2018年より既に運用が開始されております。

# 4. 「赤字」と「債務超過」の違い

## 1. 損益総括

(百万円)

	金額
営業収益	791
スポンサー収入	418
入場料収入	131
Jリーグ配分金	96
アカデミー関連収入	29
物販収入	45
その他収入	72
営業費用	907
チーム人件費	338
試合関連経費	92
トップチーム運営経費	143
アカデミー運営経費	30
女子チーム運営経費	0
物販関連費	31
販売費および一般管理費	273
営業利益	▲ 116
経常利益	▲ 115
税引前当期利益	▲ 115
法人税および住民税等	1
当期純利益 (損失)	▲ 116

## 2. 貸借対照表

(百万円)

	金額
流動資産	119
固定資産	40
資産の部 合計	159
流動負債	211
固定負債	4
負債の部 合計	215
資本金	285
資本剰余金	85
利益剰余金	▲ 426
資本 (純資産) の部 合計	▲ 56

債務超過を解消する = (純資産を0以上にする) 方法

- (1) 資本金を増やす  
→ 増資の実行 (資本金を出す人を募る)
- (2) 利益剰余金を増やす (マイナスを消す)  
→ 当期純利益を出す
  - 費用を削減して利益を出す  
(チーム人件費、試合運営費、etc.)
  - 収入を増やして利益を出す  
(広告料、入場料、etc.)

したがって左のクラブの場合、債務超過解消には、

- ① 5,600万円以上の増資
- ② 5,600万円以上の当期純利益
- ③ 増資と利益の合計が5,600万円以上

のいずれかの手段を取らなければならない。

出資や増資等で得た資金はここにカウント

→これまでの黒字 (赤字) の累積

→ここがマイナスなら「債務超過」

## 5. 新型コロナウイルスの影響による特例措置(財務基準)

対象基準		懸念事項	特例措置
財務基準	F.01「年次財務諸表(監査済み)」	試合延期の影響(平日開催の増加・自粛ムード等)や、スクール活動の休止、スポンサー営業の不振などで、3期連続赤字および債務超過に陥ってしまう。	19年度決算および20年度決算において当期純損失を計上し若しくは純資産がマイナスとなった場合でも、それが、新型コロナウイルスによる影響であると認められる場合には、F.01に対する運用細則3.(2)①に定める「3期以上連続で当期純損失を計上した場合」においては、当該年度をカウントせず、同②「純資産の金額がマイナスである(債務超過である)場合」に該当する場合でも、F.01を満たさないと判断しない。 ※19年度決算および20年度決算において特例措置が認められた場合、当該年度の当期純損失および債務超過についてカウントしないものとして取り扱う。
	F.06「予算および予算実績、財務状況の見通し」		2020年度決算見込みにおいて、F.06に対する運用細則3.⑤に定める「基準F.01に対する運用細則の内容を充足する内容でないと判断される場合」に該当する場合でも、F.06を満たさないと判断しない。 ※④に定める「資金不足に陥る可能性または経営の継続が困難となる可能性が高いと判断される場合」に該当する場合は、F.06は満たさないものとする。